

中期経営計画

「ONE TAKANO & Growth」

2024年2月

タカノ株式会社



1. タカノの経営理念・ミッションと中期経営計画基本方針

長期経営方針	「百年企業となる」
--------	-----------

経営基本理念	常に高い志を持ち、社会のルールを守り、世の中の変化を見すえ、持続的成長・発展を通じ、豊かな社会の実現に貢献する
--------	---

中期経営計画スローガン	ONE TAKANO & Growth
中期経営計画基本方針	研究開発型企業を目指し、他に勝る技術開発・商品開発・事業開発を確実に進め、世の中に新しい価値を提供すると共にグローバル化を進め、事業の発展を図る ～社会が、そしてタカノがサステナブルであるために、構造改革とプロセス改革を進め、高付加価値事業へのシフトとSDGsに向けた動きを加速させ、成長を確実なものにする～
キーワード	『 創意工夫 』・『 挑戦 』・『 覚悟 』+ Speed

●今期中計の期間は、2024年度～2028年度の5年間とします

・2024年度～2026年度の3年間の積極的な投資により、成長の基盤固めを行い、2027～2028年度の2年間でその成果を実現します

2. 事業環境

医療機器・医薬品

- ・医療機器の世界市場は、高齢化の進行と医療の高度化により、年率5～6%程度の伸長を予想
- ・国内でのアレルギー検査では、院内検査市場が急成長している
- ・また内視鏡検査クリニックの増加にも注目

福祉

- ・高齢者人口は引続き増加し、介護費用負担も増大。介護保険ビジネスは、厳しさを増し、介護保険外ビジネスも競争激化する

オフィス家具

- ・今後5年間のオフィス供給は、過去5年間平均を下回る予想。また大規模オフィスビルの空室率も今後高止まりを見込む
- ・一方で、新しい働き方、多様な働き方により、“新しいオフィス”へのニーズが生まれている

半導体・電子部品

- ・いわゆるシリコンサイクルを繰り返しながらも長期的には右肩上がりで市場拡大。各国政府の資金援助を受けた新工場が、24～27年度にかけて相次いで稼働開始
- ・今後5年間では生成AI普及によるデータセンター拡大やEV/自動運転により、ロジック、メモリ、パワー半導体とも大幅な市場拡大を想定
- ・一方FPD検査装置に関しては、今後、市場拡大する可能性は少ない

電池・エネルギー関連

- ・フィルム検査の分野において、EV普及を要因にLiBなどのセパレータ向けなど電池関連の異物検査装置市場拡大を見込む
- ・また電磁弁の分野でも、カーボンニュートラルに向けた燃料改質など新規需要発生を見込む

エクステリア

- ・住宅着工件数減少により、市場は縮小傾向
- ・一方で、インバウンド需要により、ホテルや大型複合施設、大型イベント向けの需要の伸び

工作機械等（卸売/代理店）

- ・地元製造業に投資意欲が復活、国内回帰の工場新設も
- ・人手不足により、FA・省人化投資も増加



3. 重点投資分野

事業構造改革

- ✓ 成長市場への集中投資
- ✓ 高付加価値事業へのシフト

半導体関連事業
(画像検査・電磁弁)

医療/福祉分野

“新しいオフィス”への対応
(多品種少量/変種変量 生産体制)

グローバル体制強化

- ・海外拠点強化/人材育成
- ・海外取引拡大

- ・研究開発部門の長期研究成果の市場投入
- ・研究開発費：5か年累計で約50億円を投下

BCP強化（設備更新）

- ✓ 老朽化設備の更新（災害に強い生産体制）
- ✓ 生産性向上

環境関連投資

- ✓ 自家消費型太陽光発電増設 等

5年間の累計投資額
90億円（※）

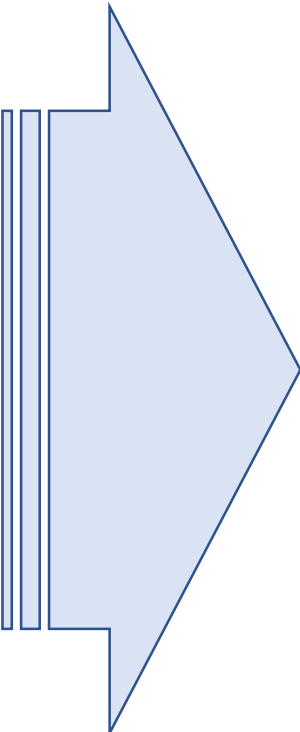
DX化推進

- ✓ 工場DX化の基盤となる次期基幹システムの構築（更新）

人的資本経営/人事制度改革を支える新人事システム運用開始

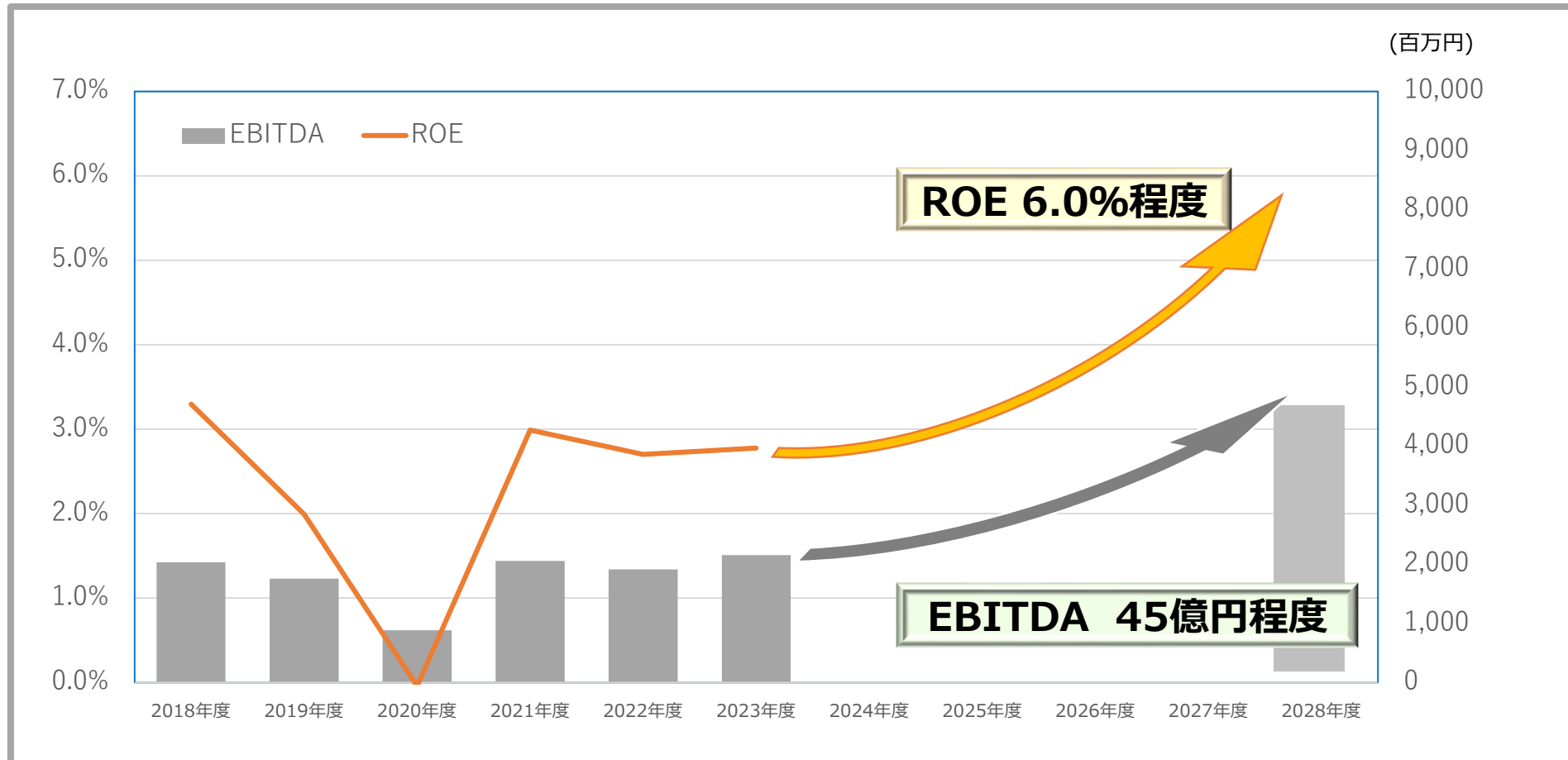
（※）基本的には手元資金にて賄うことが可能と考えておりますが、必要に応じて外部資金を調達する可能性があります。

4. 業績目標

	2023年3月期 実績	2024年3月期 公表済予想		2029年3月期 目標
連結売上高	230億円	259億円		300億円以上
連結営業利益	10億円	12.5億円		30億円以上
連結営業利益率	4.3%	4.8%		10%以上

5. 経営指標

- 成長分野に集中投資することで資産効率を上げ、ROA・ROEの向上を図ります。
- また利益水準の向上により、キャッシュフローの向上を見込んでおります。



6. 配当目標

○今次中期経営計画期間中、配当性向40%を目安に、安定的かつ継続的に実施してまいります。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	今次中計期間中
一株当たり配当金	16円	16円	8円	16円(※)	18円	予想20円	目安：配当性向40%
配当性向	25.4%	41.5%	-	27.2%	33.1%	—	

(※)記念配当2円を含む

ディスクレームー

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入などの、投資や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争環境、需要動向などの不確実性のある要因の影響を受けます。従いまして実際の業績は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合があります。本資料の利用の結果生じた、いかなる損失についても当社は一切の責任を負いません。

以 上